

オーディオ実験室収載

タップリベラメンテとフィルタライザーの導入(1)

—試作品試聴結果のトレース—

1. はじめに

タップリベラメンテとフィルタライザーについては試作品を試聴する機会があり、その結果を[タップリベラメンテとフィルタライザー試作品の試聴](#)で報告しています。今回 Enigma の Sopranino の設置方法も固まってきましたので、この機会にオーディオ仲間の S 氏、K 氏、Mt.T2 氏に Sopranino の効果を確認していただくのと同時に製品版のタップリベラメンテとフィルタライザーも併せて試聴しようと計画しましたが、入荷が間に合わず、再度ほとんど詰め終わった最終段階の試作品を借用し、対象機器を前回と若干入れ替えて再現性をみることにしました。なお、Sopranino の効果確認については、[Sopranino の活用\(4\)](#)で詳細を報告していますので、そちらの方も併せてご覧ください。

今回の目的は、古今の銘機に通じ、足しげくコンサートに通われる S 氏、生録もされる K 氏ならびにクラシック以外の音楽ジャンルに詳しい Mt.T2 氏を加えて多面的にタップリベラメンテとフィルタライザーを斬ってみようという試みです。

2. タップリベラメンテとフィルタライザー最終試作品の試聴条件

当初の計画は下記のとおりですが、途中臨機応変に変更を加えながら試聴を実施していきました。スピーカーは FAL C90EXW を使用します。



対象1：デジタル機器

目的：タップリベラメンテによる複数のデジタル機器への給電効果の確認

さらに、CCV-5 と GPS-777 へのフィルタライザーの適用効果の確認

EXP1-A：オヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換

註：現状のパワーリベラメンテ+チクマのタップから事前にオヤイデ製タップに変更する。

EXP1-B：タップリベラメンテはそのまま、CCV-5 と GPS-777 にフィルタライザーを適用する。

接続機器：DA-3000, MYTEK DIGITAL 192-DSD, CCV-5, GPS-777

評価音源：BS 録画再生

対象2：PC オーディオ

目的：タップリベラメンテによる複数のデジタル機器への給電効果の確認

さらに、PC と ES-OT4 へのフィルタライザーの適用効果の確認

EXP2-A：オヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換

註：現状のパワーリベラメンテ+チクマのタップから事前にオヤイデ製タップに変更する。

EXP2-B：タップリベラメンテはそのまま、PC と ES-OT4 の AC アダプターの後の DC ケーブルにフィルタライザーを適用する。

接続機器：DA-3000, MYTEK DIGITAL 192-DSD, PC, ES-OT4

評価音源：PC オーディオによる DSD 音源再生

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

対象3：フォノイコライザーiPhono

目的：タップリベラメンテによるフォノイコ用 AC アダプターへの給電効果確認

さらに、フォノイコ用 AC アダプターの DC ケーブルにフィルタライザーを適用する。

EXP3-A：オヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換

註：現状のパワーリベラメンテ+チクマのタップから事前にオヤイデ製タップに変更する。

EXP3-B：タップリベラメンテはそのまま、iPhono2 台の AC アダプターの後の DC ケーブルにフィルタライザーを適用する。

接続機器：iPhono×2 台

評価音源：アナログ再生

3. タップリベラメンテとフィルタライザー最終試作品の試聴結果

Sopranino の効果確認については、Sopranino の活用(4)で詳細を報告しましたので、タップリベラメンテとフィルタライザー最終試作品の評価に絞って報告していきます。

まず、EXP1-A では、オヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換すると、それだけで BS 録画再生のグレードがぐんと上がりました。さらに、EXP1-B でタップリベラメンテはそのまま、CCV-5 と GPS-777 にフィルタライザーを適用しますと、同じ曲を別の演奏家が演奏した番組を再生した場合、演奏家の音楽の作り方の違いや演奏技量も手に取るように分かるようになりました。

EXP2-A のオヤイデ製タップをタップリベラメンテに交換することは、EXP1-A で顕著に分かっていますのでスキップし、いきなりタップリベラメンテを使って PC と

ES-OT4のACアダプターの後のDCケーブルにフィルタライザーを適用してみました。PC オーディオによるDSD音源再生とベルリンフィルデジタルコンサートホールともに、かなりのグレードで再生されることは分かりましたが、K氏から先程のEXP1-Bと比べて、音楽の躍動感が低下し、温度感が不足するという指摘があり、PCのACアダプターの後のDCケーブルに加えて、ACアダプターの前のACケーブルにもフィルタライザーを追加することにしました。このACケーブルはZONOTONEの太いメガネケーブルでしたので、他のPCのメガネケーブルを外してきて付けようとしたのですが、弾力性があるため解けそうになるので暫定的に紐で固定しました。



その結果、躍動感が向上し、ベルリンフィルデジタルコンサートホールなどはこれまでにないリアルさが楽しめるようになり、PCオーディオにおける電源の重要性を改めて認識できるようになり、ZONOTONEのケーブルに戻る気がなくなりました。なお、一連の実験に先立ち、[ネット上の情報](#)から、フィルタライザーの代わりに真空管を使用しても効果があるとの情報があったため、その確認のために一部にTELEFUNKENのEL-34細管を使用していましたが、これは当該実験の際には外しています。



フォノイコライザーのiPhonoについては、EXP3-Aのオヤイデ製タップに使用はスキップし、いきなりタップリベラメンテを使用するEXP3-Bからスタートし、iPhono2台のACアダプターの後のDCケーブルにフィルタライザーを適用しました。その結果、タップリベラメンテの効果で十分と思われたのが、さらに大きな伸び代があったことが分かり、次から次へとアナログをかけていきました。その様子はSopraninoの活用(4)で報告したとおりです。ことにMt.T2氏は、このフォノイコのフィルタライザーの効果に興味を持っておられました。

ここでK氏から、ピアノソロの生録から作成したCDRを聴かせてほしいとの要望があり、EMT981で再生することにしました。ここでも、CCV-5およびEMT981とCCV-5にクロックを供給するGPS-777の電源ケーブルにフィルタライザーを適用するとCD再生時の音質に効果があることが分かりましたが、S氏から録音時の入力過多で歪んでいるのではないかという指摘がありました。[ベガでマイベスト！～とおきのシートをさがそう～報告\(2015.8.21\)](#)で報告したようにステージ上に上がってピアノ演奏を聴いた経験では聴く場所によって打鍵されたピアノ線や共鳴線がビンビン響いて聴こえることがあり、マイク位置の選択の問題であり、そういったことが議論になるくらい再生能力が上がっているのではないかと考えています。

いずれにせよ、Sopraninoと今回のインフラノイズのコンビネーションで、演奏家の音楽の造りあげ方の違いや演奏技量あるいは録音条件など、細かいところまで議論が進むようになったのではないかと考えています。

4. まとめ

タップリベラメンテとフィルタライザー試作品の試聴で報告した結果が概ね再現されました。また、PCのACアダプターでは、ACアダプターの前後のACケーブルとDCケーブルの双方にフィルタライザーを適用すると効果が増大することも分かり、フォノイコケーブルへのフィルタライザーの適用の効果が大きいことも分かりました。

まとめとして、パワーリベラメンテでタップに給電することにSopraninoを加えた状態で到達したレベルに対して、タップリベラメンテとフィルタライザーのセットはさらに伸び代があることを分かせてくれましたし、これらの使い方の勘所が分かったように思います。

以上

【註】

当日の様子は[Mt.T2氏のブログ](#)で詳細に報告されていますので、ご参照願います。なお、次報以降は製品版が届きましたので、それらの報告を行っていきます。